

北熊本(R7)7号隊舎外部補修工事

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部補修工事				図面No.	1/10
図名	表紙				縮尺	—
業務隊長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	施設管理係	管財係	設計者
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊					令和7年11月25日	

仕 様 書

- 1 工 事 件 名
北熊本(R7)7号隊舎外部補修工事
- 2 工事場所
熊本県熊本市北区八景水谷2-17-1 陸上自衛隊北熊本駐屯地 7号隊舎
- 3 履行期間
契約締結日 ~ 令和8年3月31日
- 4 概 要
既設アスファルト防水撤去 125㎡
ウレタンゴム系塗膜防水X-1 42.0㎡
ウレタンゴム系塗膜防水X-2 176㎡ (平場93.4㎡、立上り83.2㎡)
外壁塗装 1,154㎡
端末シーリング 172m
樋撤去・新設 188m
- 4 一般事項
 - (1) 本工事において図面及び特記仕様書に記載なき事項は、国土交通省大臣官房庁営繕部監修・公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版による。
 - (2) 本工事に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うものとする。
 - (3) 本工事に際し、仕様書に記載なき事項で取合い上及び技術的に当然施工すべき事項については、受注者の責任において施工するものとする。
 - (4) 本工事に際し、他の構造物等に損傷を与えないよう十分注意するものとし、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において原形復旧するものとする。
 - (5) 本工事に際し、事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意するものとし、万一災害等発生した場合は、受注者の責任において処置するとともに、速やかに監督官に報告するものとする。
 - (6) 本工事に使用する電気及び水は受注者が負担するものとする。なお、官側の電気及び水を使用する場合は監督官の承認後、受注者側負担で計量器を設置し、後日料金を徴収するものとする。
 - (7) 本工事の工事写真は、施工前、施工後、主要な工事段階ごと、隠蔽箇所、全ての使用材料、塗材の空缶の状況及び監督官の指示する箇所を撮影し、工事写真台帳(A4版)に整理の上、監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後確実に破棄するものとする。
 - (8) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け合格後使用するものとする。
 - (9) 本工事で発生する発生材は、金属類については、重量を測定の上、監督官が指定した場所に搬入集積し、発生材調書を監督官へ提出するものとする。その他は産業廃棄物として適切に処分するものとする。
 - (10) 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。(隊舎内部通路養生部を含む。)
 - (11) 本設計図書に記載されている寸法等は標準寸法であるため、施工に先立ち現場調査の上、実施するものとする。
 - (12) 請負者は作業開始前に危険予知活動(KY・TBM)を実施するものとし、高所での作業時は親綱及び安全帯等の使用を徹底し、作業者の転落防止措置を行うものとする。
 - (13) 降雨等により下地の乾燥が不十分な場合、強風及び高湿の場合、その他防水に悪影響を及ぼす場合は、施工を行わないものとする。
 - (14) 降雨等の恐れがある日は、屋根防水層及び外部に面するシーリング材の撤去は行わないものとする。
- 5 特記事項
 - (1) 仮設工事
 - ア 高所への資器材等の搬出入
高所への資器材等の搬出入は、内部階段の使用並びにクレーン等の設置を検討するものとする。また、クレーン等を使用する場合は、受注者の負担で実施するものとする。
 - イ 内部通路の養生
廊下、階段室及びホール等の養生は、ビニールテープ、専用シート及びベニヤ等を使用するものとし、開口部等に養生が必要な場合は、受注者の負担で実施するものとする。
 - ウ 仮設足場の設置
仮設足場の設置については、枠組本足場【1200枠】(安全シート、安全手すり含む)とし、本仕様書の仮設図を基準とするものとする。また壁つなぎアンカーを使用する場合は、撤去後に原状復旧するものとする。

- (2) 屋上防水改修
 - ア 撤去工事共通事項
 - (7) 異物等の除去
下地に付着している異物はケレンし、高圧洗浄機で水洗いを行うものとする。
 - (4) アルミ笠木及び水切り
既存アルミ笠木は、撤去再使用するものとする。既存水切りは、撤去するものとする。
 - (ウ) ルーフドレン
既存ルーフドレンのストレーナー及び上皿は撤去し、改修用ドレンを新設するものとし、既存防水層の撤去が必要な場合は、ルーフドレン端部から300mm程度まで既存防水層を四角形に撤去し、撤去端部は、ポリマーセメントモルタルで、勾配1/2程度に仕上げるものとする。また、改修用ドレンは、主材製造所の指定する製品とする。
 - イ 平場及び立上がり
 - (7) 既存防水層等の撤去
立上りの既存防水層(アスファルト防水)は撤去するものとし、平場の既存保護層(保護コンクリート)及び目地は既存のままとする。
 - (4) 下地補修
平場部分は既存のアスファルト防水をトーチ工法により補修、下地処理の上、「ウレタンゴム系塗膜防水X-2(密着工法)仕上げとする。また、2m置きに押えコンクリートからの水抜きを設けるものとする。
 - (ウ) 下地処理
下地処理は「ポリマーセメントモルタル(樹脂ペースト)工法コテ塗り」とし、塗り付け量は製造所の仕様による。
 - (I) 仕上げ
 - a 屋上平場及び立上りの仕上げは「ウレタンゴム系塗膜防水X-2(絶縁工法)」とする。

種別	X-2(密着工法)	
工程	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3 (注)1
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7(注)1、4
4	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(1.7)(注)2
5	仕上げ塗料塗り(注)7	—

- (注)1. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2. 立上り部はすべて、種別X-2とし、工程3及び工程4を()内とする。
 3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程当たりの使用量を硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合、平場は2.0kg/m²、立上りは1.2kg/m²を上限として変更することができる。
 4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。
 5. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材製造所の仕様による。
 6. L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
 7. 仕上げ塗料の種類及び使用量は、主材製造所の仕様による。
- b 出隅及び入隅は、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りを行うものとする。

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部補修工事	番号	2/10
図名	仕様書	縮尺	—
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	

- c ルーフドレン、配管等の取合いは、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りをを行うものとする。
- d 塗継ぎの重ね幅は100mm以上とし、補強布の重ね幅は50mm以上とする。

(3) 階段室屋根防水改修

ア 撤去工事共通事項

(7) 異物等の除去

下地に付着している異物はケレンし、高圧洗浄機で水洗いを行うものとする。

(イ) アルミ笠木及び水切り

既存アルミ笠木は、撤去再使用するものとする。既存水切りは、撤去するものとする。

(ウ) ルーフドレン

既存ルーフドレンのストレーナー及び上皿は撤去し、改修用ドレンを新設するものとし、既存防水層の撤去が必要な場合は、ルーフドレン端部から300mm程度まで既存防水層を四角形に撤去し、撤去端部は、ポリマーセメントモルタルで、勾配1/2程度に仕上げるものとする。また、改修用ドレンは、主材製造所の指定する製品とする。

イ 平場及び立上り

(7) 既存防水層等の撤去

立上りの既存防水層(アスファルト防水)は撤去するものとし、平場の既存保護層(保護コンクリート)及び目地は既存のままとする。

(イ) 下地処理

下地処理は「ポリマーセメントモルタル(樹脂ペースト)工法コテ塗り」とし、塗り付け量は製造所の仕様による。

(ウ) 仕上げ

- a 平場の仕上げは「ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)」とし立上りの仕上げは「ウレタンゴム系塗膜防水X-2(密着工法)」とする。

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り(注)5	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0 (注)1、4	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3 (注)1
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7(注)1、4
4	仕上げ塗料塗り(注)7	—	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(1.7)(注)2
5	—	—	仕上げ塗料塗り(注)7	—

(注)1. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2. 立上り部はすべて、種別X-2とし、工程3及び工程4を()内とする。
3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程当たりの使用量を硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合、平場は2.0kg/m²、立上りは1.2kg/m²を上限として変更することができる。
4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。
5. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材製造所の仕様による。
6. L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
7. 仕上塗料の種類及び使用量は、主材製造所の仕様による。

- b 出隅及び入隅は、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りをを行うものとする。

- c ルーフドレン、配管等の取合いは、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りをを行うものとする。

- d 塗継ぎの重ね幅は100mm以上とし、補強布の重ね幅は50mm以上とする。

(I) 脱気装置

ステンレス製脱気装置(SUS304)を新設するものとし、主材製造所の仕様により、新設数量は、設計数量を満たすものとする。

(4) 外壁改修

(7) 下地調整

下地調整は水洗い工法とする。

(イ) 仕上げ

外壁の仕上げは「可とう形改修塗材E ゆず肌(吹付け)」とする。

工程	塗材			所要量(kg/m ²)	塗り回数	
	規格番号	規格名称	種類			
1	主材	JIS A 6909	可とう形改修塗材E 主材	—	0.8以上	1
2	上塗材	JIS A 6909	可とう形改修塗材E 上塗材	—	0.25以上	2

外壁吹付けの工程は細部メーカー仕様によるものとし、色むら、だれ及び光沢むら等ないように仕上げるものとする。

(5) 樋工事

(7) 撤去

ドレン接続部から、地上300mm(基準)までを撤去するものとする。その際、とめ金具、アンカーについても撤去するものとし、アンカー跡については、パテ埋め等の処置を講ずるものとする。

(イ) 新設

ドレン接続部から、地上300mm(基準)までを新設するものとする。その際、とめ金具、アンカーについても新設するものとし、既設部と新設部の接続については、ソケットを用いて接続するものとする。

(6) 提出書類

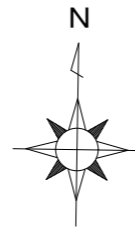
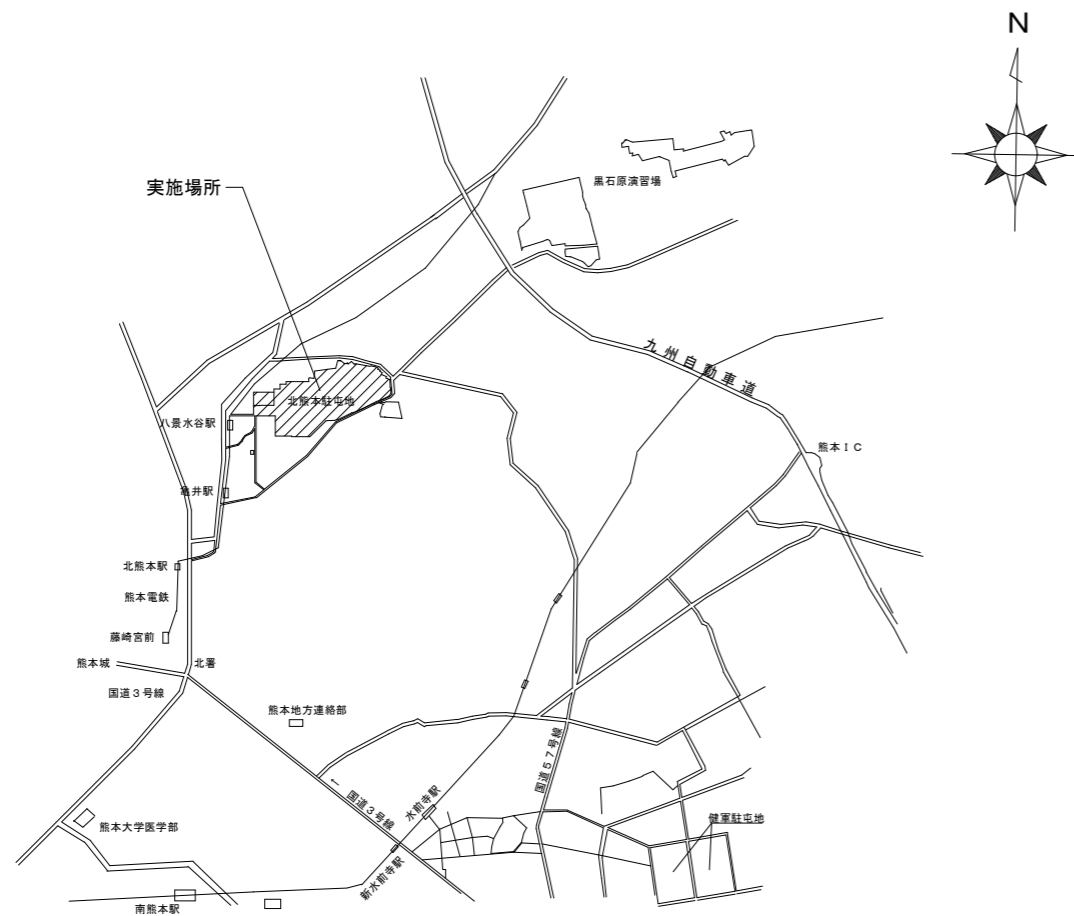
- ア 受注者は、請負契約後すみやかに下記書類各2部を監督官へ提出するものとする。

計画工程表、施工計画書、施工体制台帳、施工体系図、現場代理人等通知書、納入仕様書及びその他監督官が指示した書類

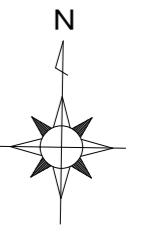
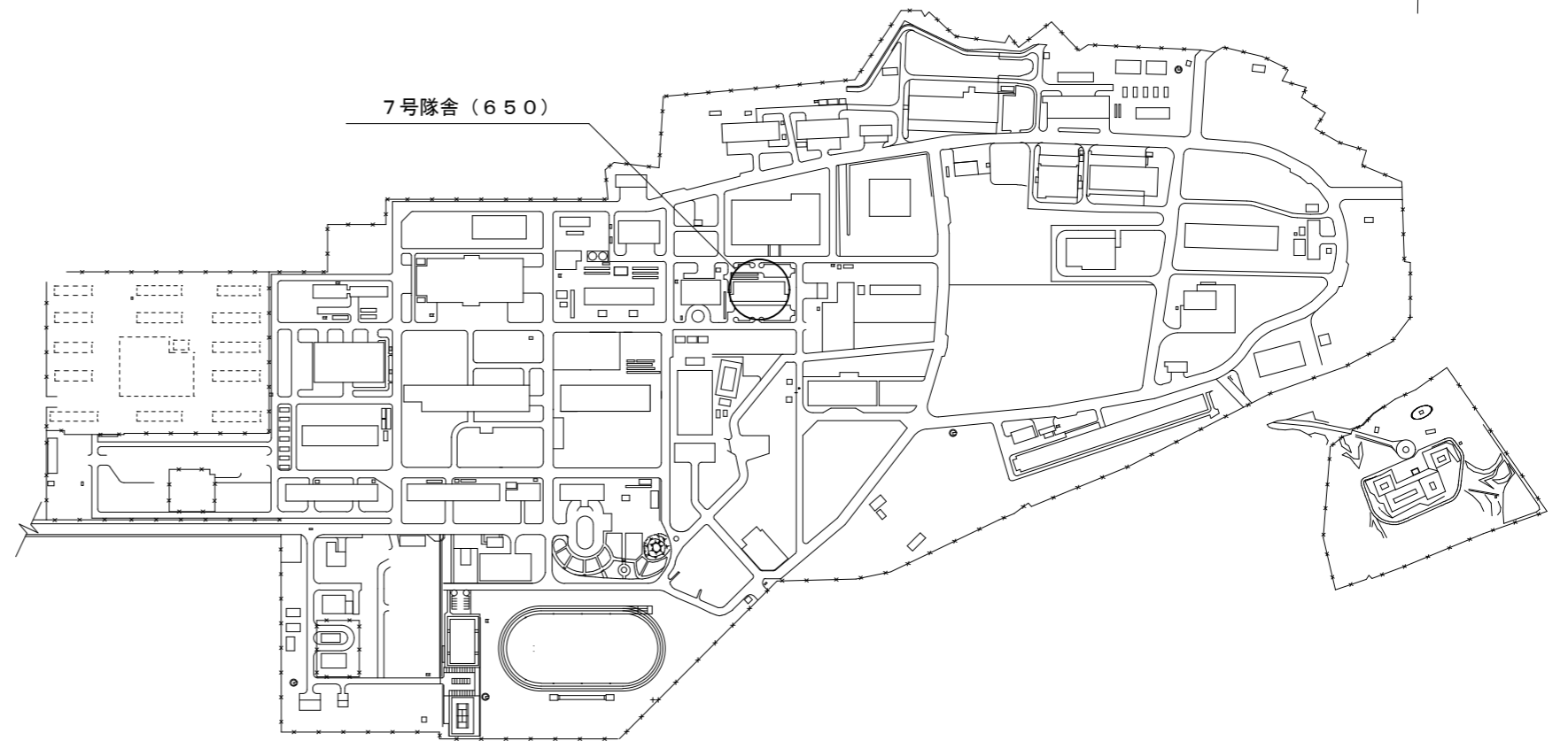
- イ 受注者は、完成検査終了後すみやかに下記書類各2部を監督官へ提出するものとする。

工法別の防水保証書(10年保証)、実施工程表、工事写真、発生材調書、及び監督官が指示した書類

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	3/10
図名	仕様書	縮尺	—
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	

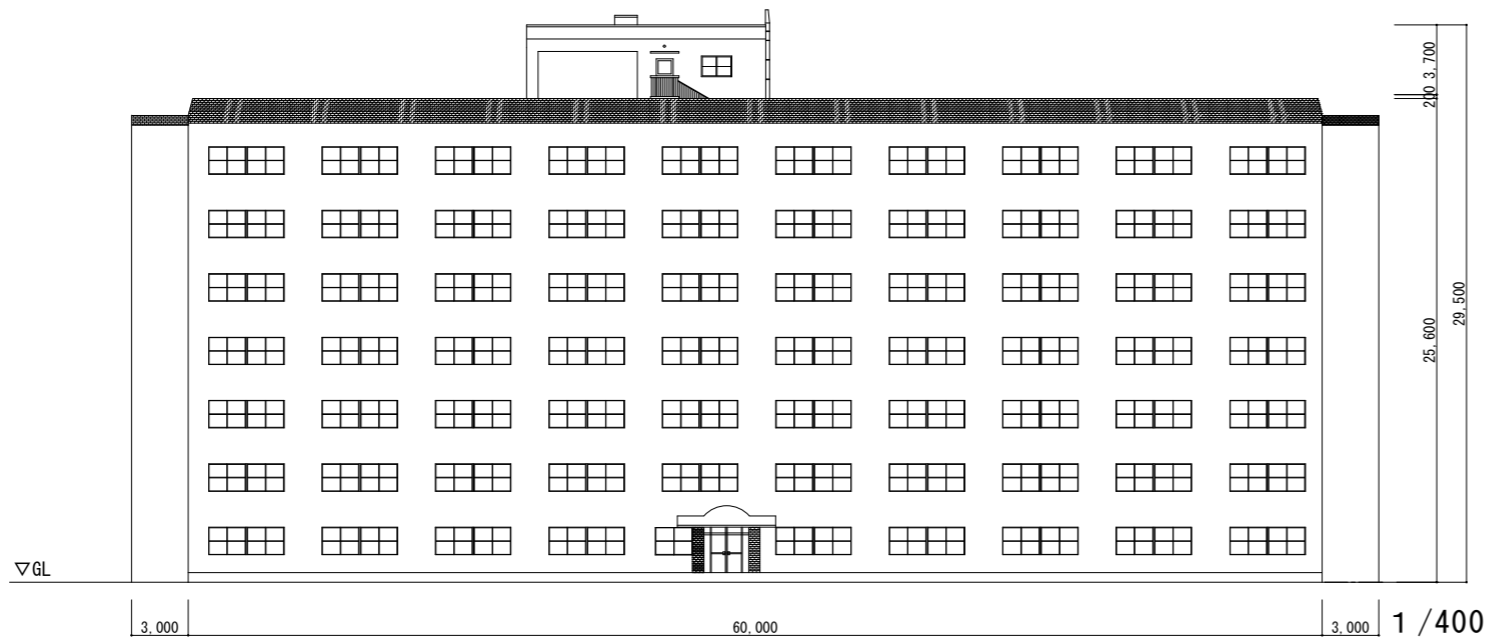


北熊本駐屯地案内図 N. S

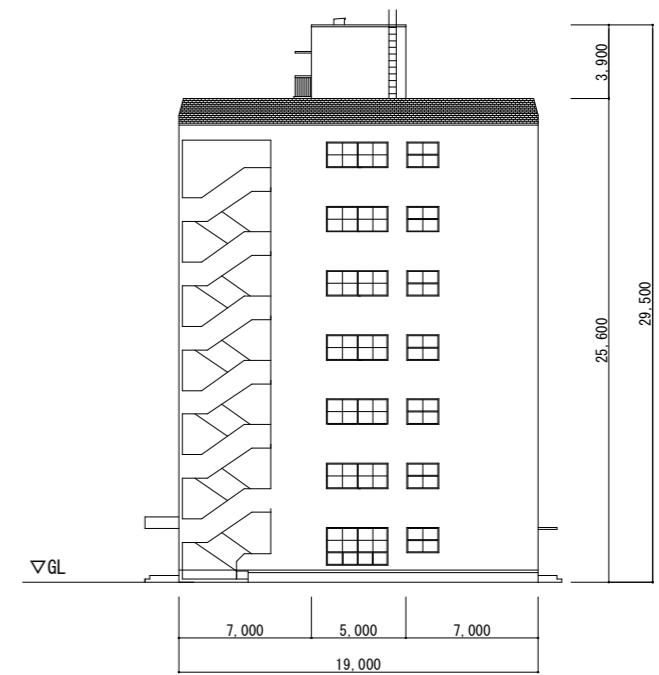


北熊本駐屯地配置図 N. S

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	4/10
図名	案内図、配置図	縮尺	—
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	

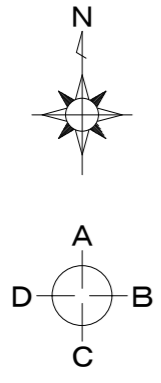


隊舎南側立面図



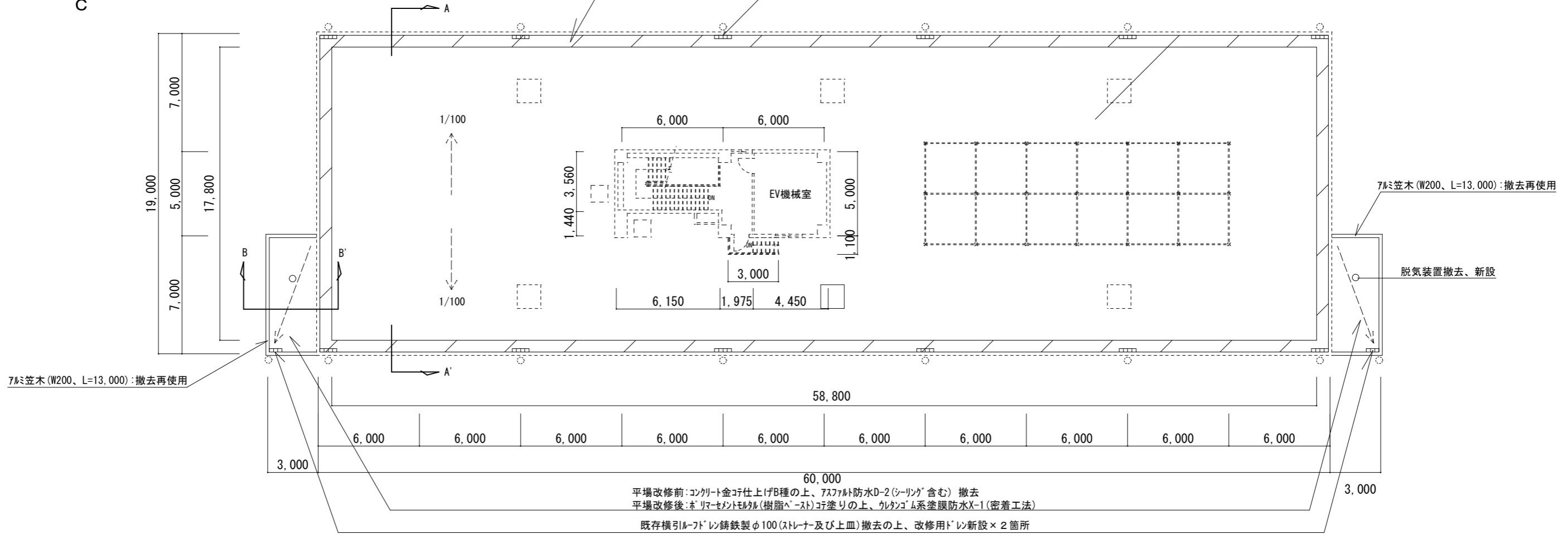
隊舎東側立面図

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	5/10
図名	隊舎立面図	縮尺	1/400
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	



改修前：コンクリート金コシ仕上げB種の上、アスファルト防水A-2 既存のまま
 改修後：コンクリート金コシ仕上げB種の上、アスファルト防水D-2 ト子工法、ポリマーセメントモルタル(樹脂ペースト)コシ塗りの上、ウレタンゴム系塗膜防水X-2(絶縁工法) 押えコンクリートの水抜きを2m置きに設ける

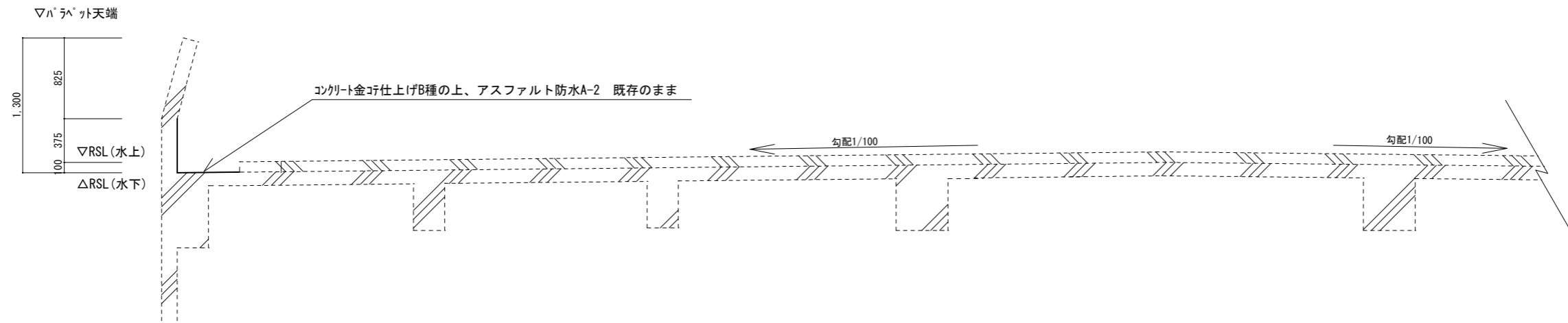
既存横引ルーフドレン铸铁製φ100(ストレーナー及び上皿)撤去の上、改修用ドレン新設×12箇所



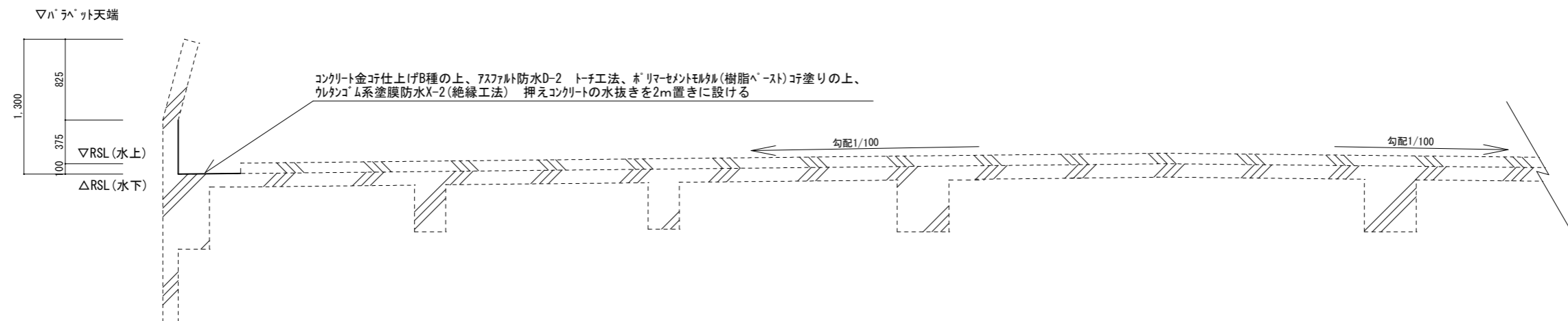
平場改修前：コンクリート金コシ仕上げB種の上、アスファルト防水D-2(シーリング含む) 撤去
 平場改修後：ポリマーセメントモルタル(樹脂ペースト)コシ塗りの上、ウレタンゴム系塗膜防水X-1(密着工法)
 既存横引ルーフドレン铸铁製φ100(ストレーナー及び上皿)撤去の上、改修用ドレン新設×2箇所

隊舎屋上平面図

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	6/10
図名	隊舎屋上・塔屋平面図	縮尺	1/250
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	

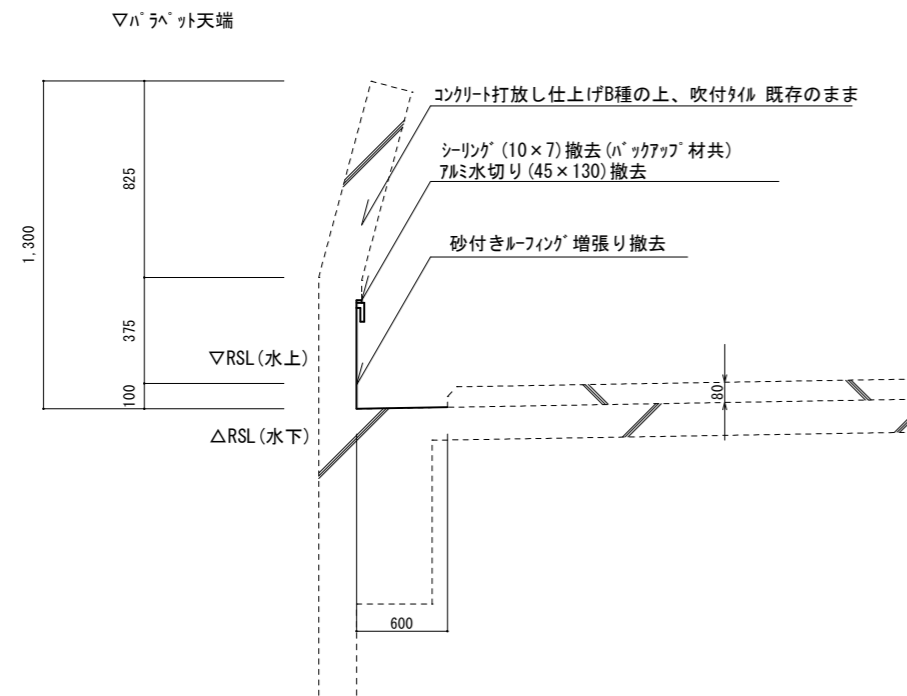


改修前 A-A' 断面図

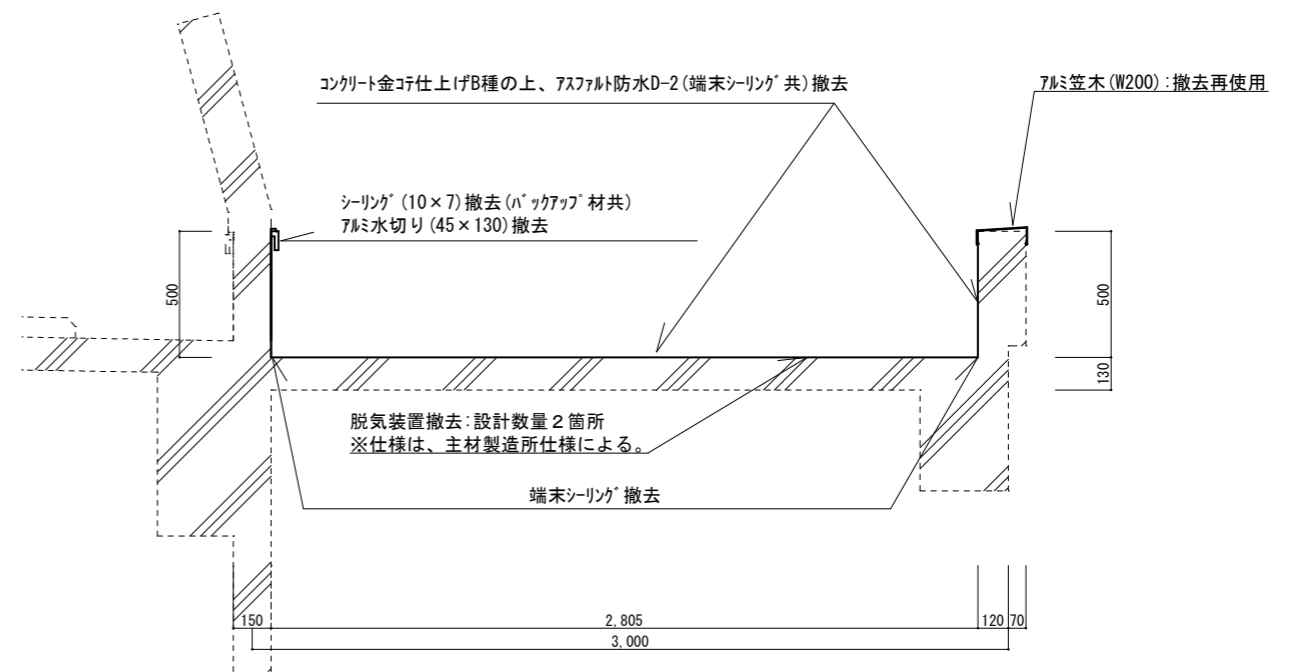


改修後 A-A' 断面図

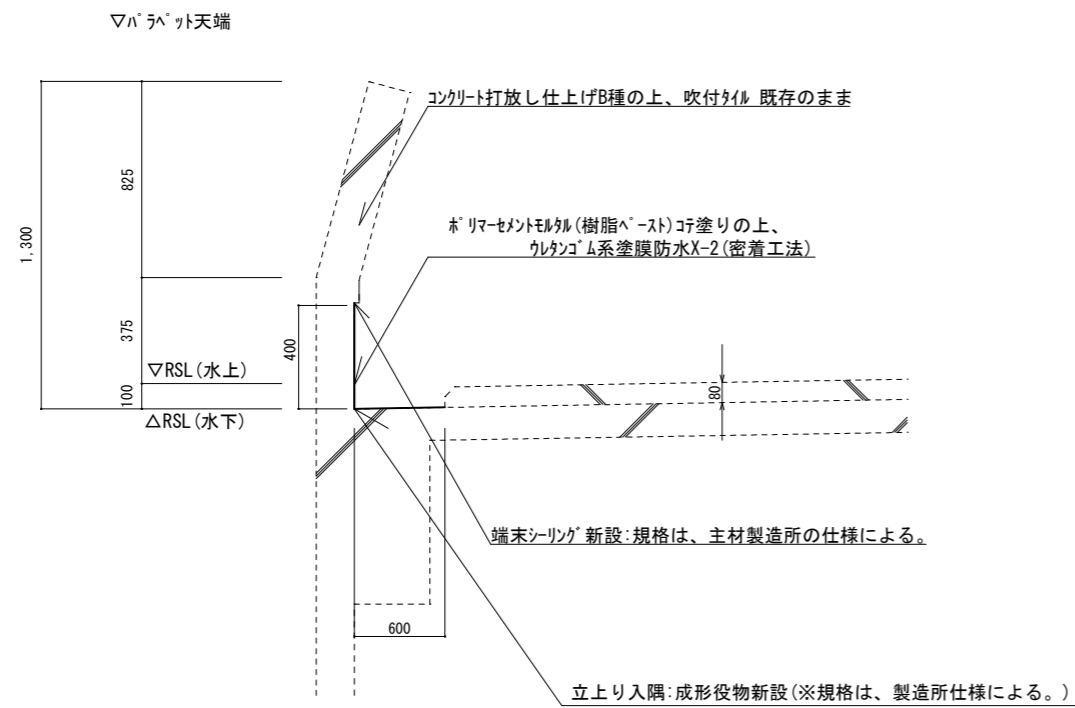
件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	7/10
図名	断面図	縮尺	1/50
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	



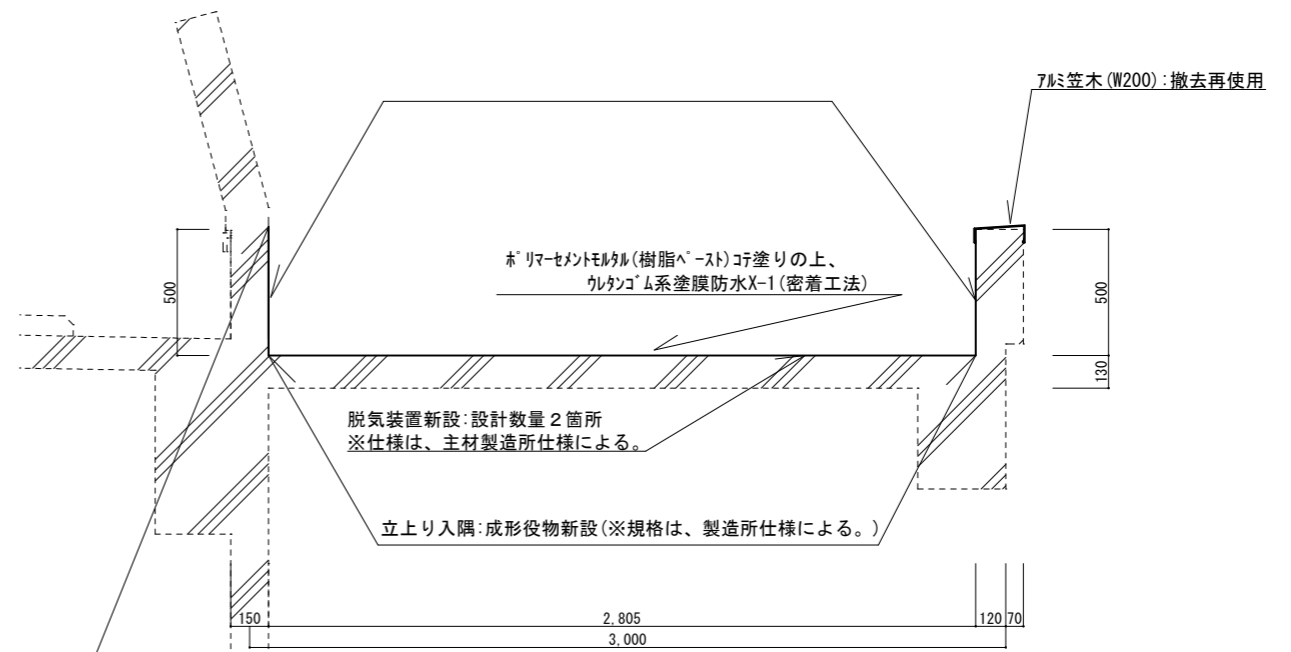
改修前 パラペット詳細図



改修前 B-B' 断面図



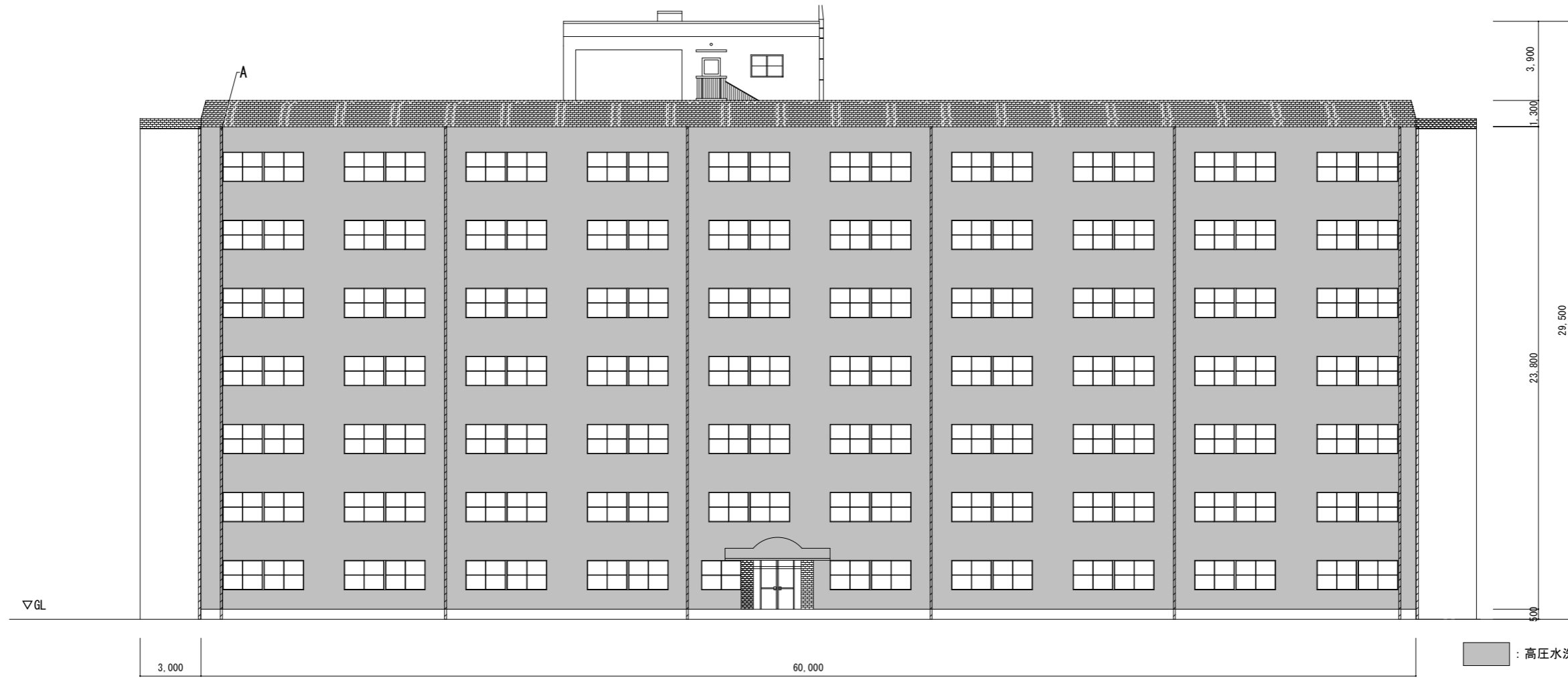
改修前 パラペット詳細図



改修後 B-B' 断面図

端末シーリング 新設、シーリングの規格は、主材製造所の仕様による。

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	8/10
図名	詳細図、断面図	縮尺	1/30
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	



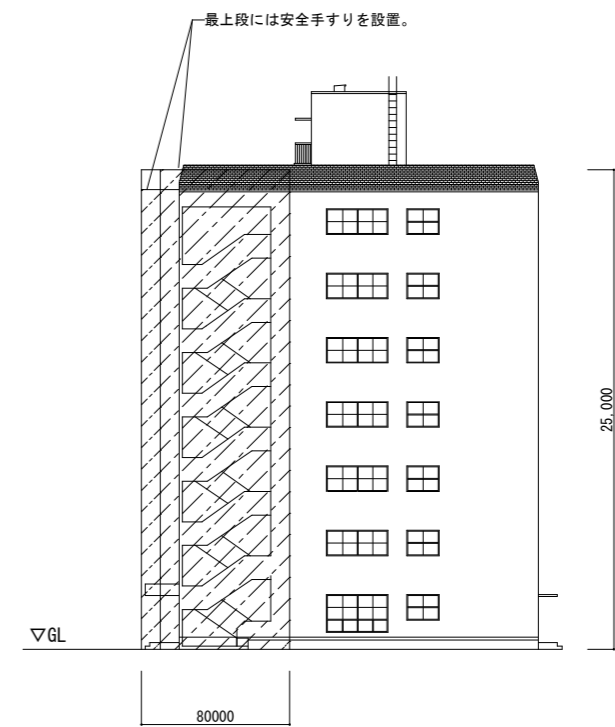
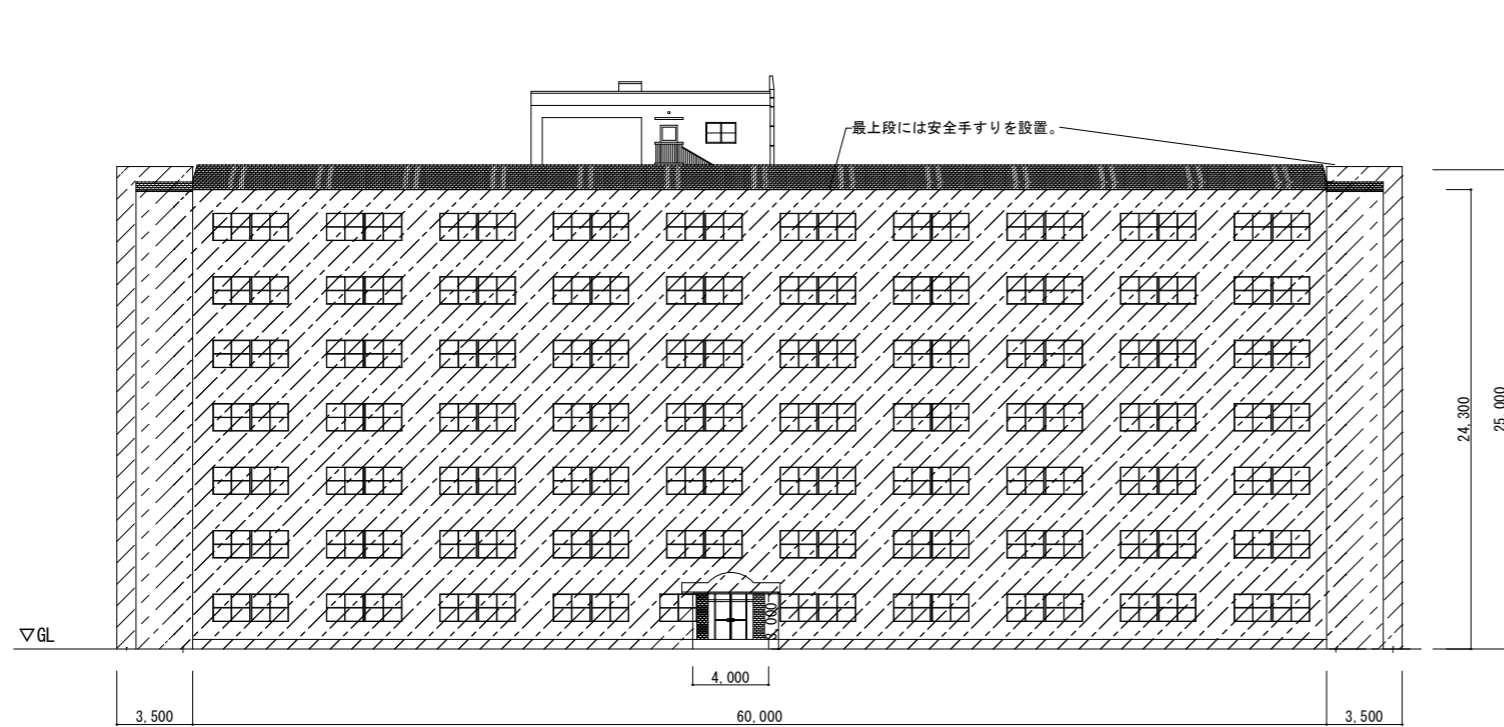
■ : 高圧水洗浄のうえ防水形複層塗材E

A : 樋取替(φ100・アンカー含)
 とめ金具20個/箇所を見込むもの
 ドレン接続部から、地上300mm(基準)
 までを撤去・新設

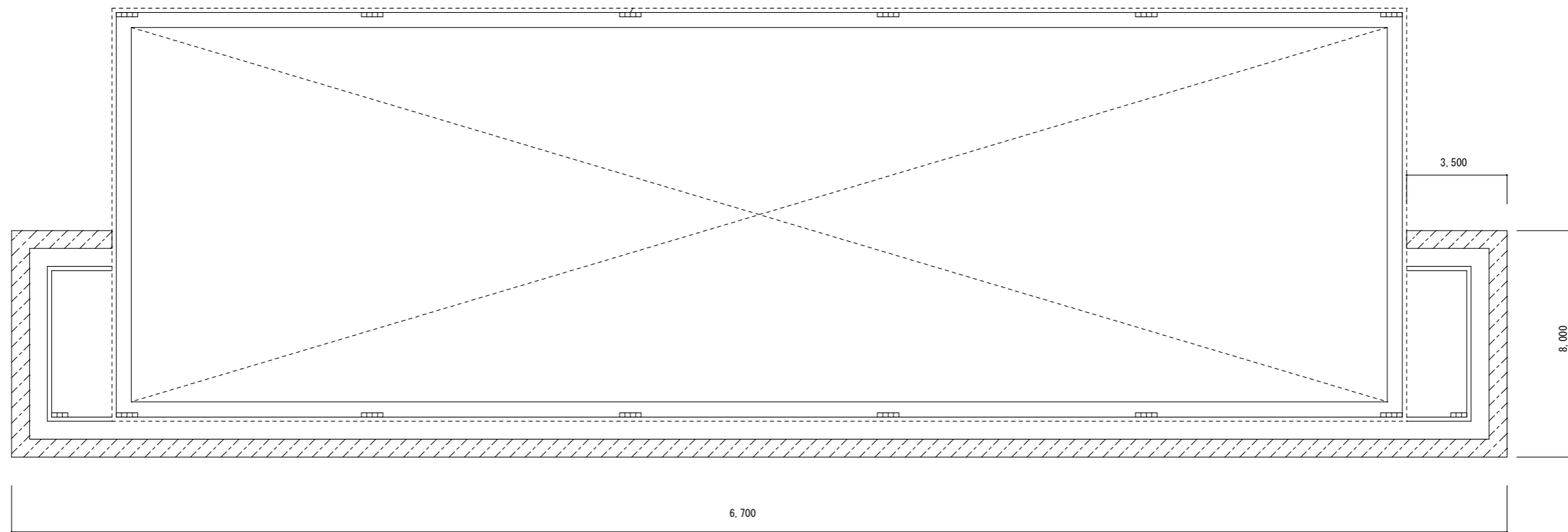
隊舎南側立面図 S=1/200

建具① : アルミ製2連引き違い窓		建具② : アルミ製引き違い窓		建具③ : ステンレス製両袖ランマ付両開き自由戸	
数量 : 69箇所	見込み : 70mm	数量 : 1箇所	見込み : 70mm	数量 : 1箇所	見込み : 100mm

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	9/10
図名	隊舎立面図	縮尺	図示
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	



仮設立面図 S=1/400



仮設平面図 S=1/250

件名	北熊本(R7)7号隊舎外部 補修工事	番号	10/10
図名	仮設立面図、仮設平面図	縮尺	図示
陸上自衛隊 北熊本駐屯地業務隊		7年 11月 25日	